

会計・ファイナンスコース Accounting and Finance UPDATE!

適正で力強い経済のために100を超える!



想定される
進路先及び
取得可能な免許

- ・金融機関
- ・財務部門
- ・国税庁など官公庁
- ・金融機関の調査分析部門 etc.
- ※高等学校教諭一種(商業)

会計情報を読み解く力、 金融や保険の理解力・洞察力を磨く。

財務会計、管理会計、会計監査などの会計学分野について、主に企業行動を対象に段階的かつ網羅的に学ぶことで、会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力を身につけます。また、金融論、保険論及び財政学の分野について、政府の政策や企業行動を対象として学修することで、ファイナンス領域に関する深い理解力と洞察力を身につけます。進路としては、金融機関、企業における経理部門・財務部門、会計ファイナンスの能力を活かせる官公庁(国税庁)などがあげられます。

会計・ファイナンスコースのポイント!!

POINT 1 会計とファイナンスの 専門領域を広く学ぶ

会計領域では、会計学の基礎である簿記から、財務会計・監査などの発展領域を主に企業を対象として段階的かつ網羅的に学ぶことができます。また、ファイナンス領域では、企業金融から政府の政策に至るまで学んでいきます。

POINT 2 金融の仕組みを考える

「金融サービス」はお金の貸し借りだけではありません。例えば、金融機関は、企業に経営面でのアドバイスを行ったりしています。また、消費者にも、資産形成のアドバイスを行ったりしています。資金を需要する側と資金を供給する側、それぞれの考え方(戦略)を、金融という仕組みを通して理解します。

POINT 3 会計情報の 機能と役割を理解する

会計では、複式簿記の会計情報の機能と役割、企業や組織の運営状況を判断することが重要です。例えば、このような会計情報を、企業内部で経営者が経営管理と戦略にどう利用しているのか、企業外部では対象企業への投資の意思決定にどう役立てるのか、メカニズムを理解していきます。

ゼミの魅力や雰囲気をご紹介します!

朴(恩)ゼミナール

朴 恩芝 教授

企業の社会的責任(CSR): 社会の一員としての 企業と会計を考える!

朴(恩)のゼミでは財務会計を学びます。財務会計では、企業が提供した経済活動の成果と将来の予測に関する情報を外部の視点で分析します。企業の財務情報は特に投資家が投資判断を行う際に最も重要なものですが、今日は企業の環境や社会活動といったCSR(ESG)情報も考慮しなければなりません。ゼミでは、こうした動向に会計がどうかかわるかについても勉強します。社会の一員としての企業のあり方が問われる時代に、会計もその重要性が増しているからです。



藤原ゼミナール

藤原 敦志 准教授

金融機関・金融市場・ 金融政策を巡る 新たな展開を考察

藤原ゼミでは2年次の金融論で学んだ基礎的な内容を踏まえて、最近の日本を含めた世界で起こっている金融の変化の本質を、新聞や雑誌などさまざまな資料を丁寧に整理・分類することで浮き上がらせます。ICTの発達やグローバル化、ウィルスの蔓延や戦争の勃発などを受けて、実体経済が調整を迫られる裏側で、金融の世界も日々新たな展開を見せており、それに応じて政府や中央銀行も規制や金融政策を柔軟に変更させていかねばなりません。このゼミではその網の目のような変化を丁寧にたどることで、金融の世界の「正解」を探求していきます。



朴(鏡)ゼミナール

朴 鏡杓 教授

経営の意思決定を支える 管理会計:データの活用から 経営課題の解決へ

朴(鏡)ゼミでは、企業の意思決定や業績管理に不可欠な「管理会計」を学びます。管理会計は、経営者が適切な判断を下すための情報を分析・提供する役割を担います。ゼミでは、利益計画や予算管理、原価計算、業績評価といった具体的な手法を習得するとともに、それらの情報をいかに経営課題の解決や戦略の策定・実施に結びつけるかを深く探究します。単なる計算スキルの習得に留まらず、データに基づき論理的な解決策を導き出す「実践的な思考力」を養うことを目指します。

